



## CONTENTS

2016年度 聖句

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、  
あなたがたも人にしなさい」

(マタイによる福音書第7章12節)



大学の学修・教育環境改善のアクションプランと現況	2
真鍋記念奨学金および学長賞受賞	3
卒業生の活躍	5
退任あいさつ	6





# 学生の学びを支える和泉の取り組み

## 本学の学修・教育環境改善のアクションプランと現況

副学長 教務部長 松浦 浩樹 教授



2016年度は、本学創立60周年を迎えるにあたり、様々な企画と共に、学修・教育環境の見直しも図られました。一つ一つの改善案は、丁寧にしかも回数にわたる教授会で審議を重ね、練り上げられていきました。本学の教育の基盤となる「建学の精神」・「スクールモットー」

は60年の歴史を重ねても全く錆びないものでしたが、時の経過と共に教職員の中で、曖昧に捉えられていたのが実情でした。建学の精神・「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」スクールモットー・「愛と奉仕」

教育環境改善のアクションプランとその実施に向かう前に、建学の精神とモットーを全教職員で省みたことは、大きな意味がありました。何より、本学の強みである「教員と職員の協働性」をさらに強めていく契機になったと思います。そして今後課題となる学修・教育環境改善の具体化は、何よりも本学が学生にこの「愛と奉仕」の精神を身をもって指し示す、学生(学生生活・学業生活)中心の改善であることが、全教職員のコンセンサスになっていくことを改めて感じ、本学の組織に誇りをもちました。

さて抜本的な見直しを図ったのが、教育理念、スクールモットー、そしてアドミッション・ディプロマ・カリキュラムの3つのポリシーです。以前、教育目標もありましたが、色々混在し分りにくいため、理念とモットーに踏襲する形で、廃止いたしました。

崇高な言葉とミッションに基づいて表されてきました従前の教育理念は、時の経過と共に学生の実情・社会の現状に即さなくなっておりましたので下記のように変更いたしました。

本学は、建学の精神であるキリスト教信仰に基づき、スクールモットーである愛と奉仕を実践する人、地域社会のあらゆる局面で積極的な貢献を成し得る人、保育・福祉専門職として謙虚に学び続ける意志をもつ人への実力養成教育を授ける。

また、アドミッションポリシー(入学者受入れ方針)、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)、これら3つのポリシーもFD研修や研究会、教授会で何度も検討を重ねた上で、明確化しました。(3つのポリシーの詳細はホームページを参照)創立60周年に向けて、こうして長い時間と手間をかけて練り上げた教育環境の基底的改善のもとに、2016年度を開講することができました。ことを深く感謝いたしております。

さて2016年度は、この教育環境の基底的改善を基に、大きく4つ具体的改善が図られ、実施されております。1つ目は、学生たちの自習をサポートする「ラーニングセンターウィー」の

新設。2つ目はGoogle Classroom本格的導入。3つ目は時間割の変更、4つ目は食堂のカフェ化。1つ目の「ウィー」は「IT支援・一般教養学習支援」を柱に自学習を促進し、課題学習に積極的に取り組む空間として設立されました。またほぼ同時期に整備した2つ目の「Google Classroom」の電子上の活用支援課題取り組み支援等もここでを行っています。3つ目の時間割変更は、端的に述べますと昼休みの一斉取得を廃止し、5時間制の時間割を再構成しました。これにより昨年まで5時間制終了17時50分に対し40分短縮され、17時10分に終了できるようになりました。このような「5時間制」を実施した理由は、2015年度までの2年生が、特に前期において、15回分の授業を確保するために、5限に授業が補講的に置かれていました。教育実習のため、前期に休講せざるを得ない各科目3回分をこの5時間内に充てていました。また夏休みが短いとの学生の不満の声もあり、8月にはみ出してしまいう回数分の授業を計画的にこの5時間内に充てていました。そのため2年生前期はほとんどの曜日に5限目に授業・講義が入っている状況でした。これに対して当時の学生から、「1日5限全て授業が入っているのは辛い、ついていけない」、「バイトができない」等の不満の声が多

く出ており、苦肉の策で時間割改善を行ったわけです。しかしこの流れや実態を知らず、また1年時には4限までしか授業がなかった現2年生には、かなり衝撃を与えたようです。現2年生に対する説明・説得への反省もさることながら、改善年度とはいえ、クラスによる時間割のばらつき等も含め、課題が尽きません。一方で、1日の中で2時間目、3時間目のどちらかを必ず空きコマにしています。学生はその日の時間割に合わせ、どちらかの時間帯に昼食・談話・自習をしています。このことにより、1から5時間まで5科目の詰め込み授業が回避されました。さらに食堂の混雑も解消され、所狭しと並べられていたテーブルと椅子を処分し、イマドキの大学生の学習スタイルの一つである「カフェで自習」を実現しました。これが4つ目の具体的改善です。食堂に限らず、学生ホール、ウィー、キャリアデザインセンター等で学生たちが共同学習や課題学習に取り組んでいる姿が圧倒的に増えました。2年間で「守られ育てられる者から守り育てる者へ」の具現化の前に「学ばされる者から学ぶ者へ」の転換を図るべく、本学の教育・学習環境改善のアクションプランは、その都度示される無理難題・課題に真摯に向き合いつつ、更新を続けていきます。

## 聖書のことば



チヤブレン 西田恵一郎 准教授

「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じものになられました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」(フィリピの信徒への手紙二章六・八節)

「老いた ひとりの農夫が ゆり椅子に 身をゆだねて 暖炉の火を み つめていた。 遠く、教会の鐘が鳴っている。 クリスマス・イブ。 彼は もう長いこと 教会に背を向けて生きてきた。 「神が人間になった、だと? 馬鹿々々しい。 だが、そんなことを信じるものか。」 眼を閉じ、薪のはじける音を聞きながら 彼は まどろみかけていた。 突然、窓ガラスに 何かがぶつかる 烈しい音。 それも次々に、更に更に激しく、 何事かと、彼は身を起

こした。 窓際に立って 見たものは 音も無く雪の降りつもる夜闇の中に この家をめざして押し寄せてくる

## 眞鍋記念奨学金受賞(前期)

1年 齋藤 愛



この度は眞鍋記念奨学金として表彰して頂きまして、深く感謝申し上げます。こうして勉学に励むことができるのも、家族や友人をはじめ保育における様々なことを教授してくださる先生や職員の方々の存在があるからなのです。改めて身に染みて感じております。日々新しい知識や考え方に触れられるこの環境は、私にとって良い刺激です。和泉で保育の学びを深められることに誇りをもち、より良い保育者となるよう邁進していきたいと思っております。

1年 大久保美南



この度は名誉ある賞を頂戴しまして、誠にありがとうございます。沢山の事をご教授してくださる教職員の方々、助け合いながら共に学ぶ友人、学生生活を支えてくれる家族に感謝しております。幼い頃から憧れていた保育について、温かい和泉で学ぶことができ、大変充実した日々を過ごしています。将来私が関わる子どもたちや保護者から信頼される保育者になるように、今後も学びを深め、努力して参ります。

2年 立石 夏海



この度はこのような素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。

## 学長賞表彰(前期)

2年 遠藤 知美



この度は学長賞をいただきありがとうございます。このような賞をいただけたのは、同じサークルの仲間たちや応援してくれた友人、家族、先生方や職員の皆様の支えがあったからだと感じています。体育大会に出ることで経験したことを心に留め、これからの学びに活かしていきたいと思っております。バレーボールサークルの後輩たちが来年のAブロック大会でより良い結果を残してくれると期待しています。

2年 松田 菜月



学長賞という素敵な賞を頂けて嬉しいです。大会でいい成績が残せたのは遠いところまでわざわざ応援に来てくださり、声援を送ってくださった方や先生方の協力があったからだと思っております。たくさん支えがあったからこそいいプレーでいい試合を行うことができました。卒業してしまう2年生はもう大会に出ることはできませんが、専攻科に進む2年生や1年生にサークルを受け継いで頑張りたいと思います。





8月6日(土)、7日(日)に、和泉短期大学アリーナ棟に宿泊する研修会、「WILLER」ともに語ろう」が開催されました。この研修会は、卒業生・在校生・教員がともに語り合うことを一番の目的に行っています。

卒業生には実践現場において様々な困難や葛藤と出会い、もう一度和泉ベースで語りたいという思いがあり、在校生には就職後の具体的な働き方のイメージがつかないという悩みがあります。教員にはどちらの思いも受け止め、育ちゆくものを支える専門性があり、それぞれそれぞれの思いや志を集めて皆でじっくりと語り合うことにより、和泉で学び合った保育への思いを原点として、明日からの具体的な手立てや活力を見出ししていくのです。

今年度は、分科会、夕食調理、情報交換会に加えてリカレント講座「働くためのトランジション・アクティブトランジション」を、講師をお招きして開催し、一層学びの内容も充実させることができました。また、昨年同様同窓会や有志の先生方のご支援もいただき、充実した語り合う場を創り上げることができました。

松山 洋平 准教授

「WILLER」ともに語ろう」  
(在校生を含む)若手・中堅研修会



私は現在、相模原市内の保育園に勤務しています。毎日の可愛い子ども達の笑顔に囲まれて、保護者や職員など多くの人たちと忙しく、また楽しく過ごしています。この生活もいつしか25年以上過ぎ、先日、永年勤続者として表彰状を頂きました。和泉短期大学を卒業後、保育園に就職し、育児休業を頂きながら保育士として邁進してきました。しかし、病氣、介護ほか大小の壁が立ちほかかる事もあり、ここまで来られたのは、職場による寛大なご理解と、家族等

も含め、周囲の方々から支えてくれたお陰だと感謝しています。学生時代は勉強と実習、聖歌隊の活動に励み、多くの仲間と同じように憧れの保育士を目指していました。その側では、あたたかく先生方が、保育に必要な教養や技術だけでなく、厳しい環境に置いても愛情や精神力を持って根気強く進んでいくことの大切さを教えてくれたと思います。それは保育士としての私の基礎となっています。

「継続は力」という言葉を信じ、百戦錬磨の経験を生かして多様な子育て家庭の力になれるよう、また次世代保育士の育成のお手伝いと、子ども達の笑顔が沢山見られる保育が出来るよう、これからも進んで行きたいと思えます。

卒業生の活躍 (第14回)

二本松保育園 主任(1988年卒業)

佐々木由美子さん

オレンジリボン運動

11月は、「児童虐待防止推進月間」です。本学は、「オレンジリボン運動」(児童虐待防止推進活動運動)に賛同しており、学生、教職員共に本運動を支援・推進しています。

厚生労働省「児童虐待防止推進月間」標語選定

平成28年度 厚生労働省「児童虐待防止推進月間」の標語に、全国7,034作品の中から、1年山口涼香さんの作品が最優秀作品(厚生労働大臣賞)に選定されました。

標語 「さしのべて あなたのその手 いちはやく」

これを受け、11月19日(土)に福井県福井市で開催された「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinふくい」にて、賞状を授与されました。授賞式で山口さんは、「今回の標語作成は授業の一環で取り組みましたが、多くの応募があった中で自分がつくった標語が選ばれ、とても嬉しく思います。私はいま、児童福祉学科で保育の勉強をしていますが、今回の受賞を機にさらに学びを深めたいと思います。」と、約600人の参列者を前に感想を述べました。

児童福祉を学びの柱に掲げる本学として大変喜ばしい受賞です。山口さんの作品は啓発ポスターへ掲載され、11月の推進月間にて全国各地に活用されました。

オレンジリボンキャンペーン

2016年11月9日(水)18:00~19:00 JR横浜線 橋本駅 北口広場、11月16日(水)18:00~19:00 小田急線 相模大野駅 北口広場にて、オレンジリボン・キャンペーンを実施しました。

本学学生と教職員が、相模原市民生児童委員、相模原市児童虐待防止連絡会、相模原市こども青少年課、相模原市こども家庭相談課、市内児童福祉施設の方々と協力して「児童虐待防止にご協力お願いします!」と呼びかけながら、学生が手作りしたオレンジリボン2,000枚を、駅を行きかう人々へ手渡しました。今回の運動が少しでも児童虐待防止につながればと思います。



TOPICS

WEEKDAY CAMPUS VISIT 開催

WCV 1日の流れ



入試広報部長 鈴木 敏彦 教授

7月26日・28日・29日の3日間、WEEKDAY CAMPUS VISIT(WCV)プログラムが開催されました。WCVとは、高校生が和泉生と一緒に90分間の授業に参加し、入学後と同じ「普通の大学生の一日」を体験するプログラムです。これまでも高校生が本学での学びを体験する機会として、オープンキャンパス時の「ミニ講座」や、市内高校生向けの「プレカレッジ」等を実施してきました。これらの取り組みは参加者から一定の評価を頂いてきましたが、WCVの特色は本学学生とともに和泉の日常を体験できる点です。7月のWCVでは、合計19校・23名の高校生が参加し、「最初は難しそうだったが先輩と一緒に考えることができた。他の授業も受けてみたい」「自分の力で考えて発信する力の大切さを知った」「授業を通して自分がどういう保育者になりたいのかということが明確になった」等の感想が寄せられました。次回のWCVは、12月23日に開催の予定です。



第51回全国私立短期大学体育大会結果報告

第51回全国私立短期大学体育大会が、2016年8月8日(月)~11日(木)に開催されました。

●女子バレーボール (於: 大田区総合体育館・大森スポーツセンター)  
16チーム出場のBブロックにて完全優勝  
1、2年7名のチーム。決勝トーナメント、決勝戦をすべてストレートで勝利。



試合結果  
◇Bブロックグループ予選 vs 豊橋創造大学短期大学部 2-0 勝利  
◇決勝トーナメント1回戦 vs 湘北短期大学 2-0 勝利  
準々決勝 vs 岡崎女子短期大学 2-0 勝利  
準決勝 vs 千葉経済大学短期大学 2-0 勝利  
決勝 vs 千葉敬愛短期大学 3-0 優勝  
※決勝のみ5セットマッチ

●女子バスケットボール (於: 八王子市富士森体育館分館)  
Aブロック  
試合結果: 1回戦 vs 常磐会短期大学 敗退



●男子バスケットボール (於: 八王子市富士森体育館・エスフォルタアリーナ 八王子)  
昨年3位。1、2年8名が出場。  
試合結果: 予選リーグ vs 修文短期大学部 敗退  
vs 武蔵丘短期大学部 敗退  
vs 新渡戸文化短期大学部 不戦勝



●バドミントン男子シングルス (於: 小田原アリーナ)  
試合結果: 1回戦 vs 湘北短期大学 勝利  
2回戦 vs 福島学院大学短期大学部 敗退



●バドミントン女子団体戦・女子個人戦ダブル (於: 小田原アリーナ)  
試合結果  
◇女子団体戦  
1回戦 vs 富山短期大学 敗退  
◇女子個人戦ダブルス(白石・町田組)  
1回戦 vs 大阪成蹊短期大学部 敗退  
◇女子個人戦ダブルス(大森・加藤組)  
1回戦 シード 2回戦 vs 松山東雲短期大学 敗退



第8回市内高校長との教育研究会

9月14日(水)第8回教育研究会を開催し、相模原市内10校の高等学校から校長先生、教頭先生方にご参加をいただきました。「幼児教育改革の動向と和泉短期大学のアクティブ・ラーニング-学力の3要素と幼児教育・保育者養成教育に焦点を当てて-」の話題提供の後、意見交換が行われました。各高等学校の先生方からいただきましたご意見を参考として、地域に根ざした短期大学として教育改革に取り組み、今後も市内高等学校との連携強化に力を注いでいきます。



サンクスギビングフェア

10月19日(水)サンクスギビングフェアを開催しました。いずみ祭を目前に控えて、いつも以上に学生パワーが満ち溢れたフェアとなりました。好評により、無料ドリンクは10:30に完売、100円ランチ「ハロウィンミートドリア」も昼休みが始まる前に完売しました。学生食堂のじゃんけん大会、コンビニのくじ引きなどで学内が笑顔で盛り上がりました。



第50回いずみ祭 「みんなでいこう!いずみのテーマパーク」

<サウンドコンテスト> いずみ祭のメインイベント10月29日(土)に1年生、2年生、専攻科生のグループごとにサウンドコンテストを行いました。グループ一体となって、今年の課題曲1年生「和泉短期大学カレッジソング」2年生「にじ」と自由曲を歌いました。各グループが様々な衣装や歌の表現を工夫したサウンドコンテストでした。

<保育出店> 緑日、スタンプラリー、風船ランド、宝さがし迷路など、どの出店も幼児や子ども達で大盛況でした。和泉らしさが出せた保育出店でした。その他健康測定コーナー、入試相談コーナー、茶会などを開催しました。





## 2016年度「創立60周年記念事業募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年に東京都世田谷区中町でバット博士記念養成所を開設し、同年5月現任訓練講習会が開催されたことに始まり、2016年5月で創立60周年を迎えました。教育の充実を図り、学修環境整備、施設維持整備を目的に、「創立60周年記念事業募金」を行うことになりました。皆様には出費多難の折と存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ●募金対象事業

- 1) 創立60周年記念事業 2) 学修環境整備  
3) 1号館外壁・鉄部塗装工事 4) その他、関連箇所整備

### ●募金目標金額

1億円

### ●募金募集期間 2016年5月～2017年3月

寄付者一覧(敬称略) <2016年5月1日～10月31日>

#### 【特別寄付金】

阿部 遥/新井 津多恵/井狩 芳子/池田 涼子/石井 俊子/石上 雅久/石川 ひろ子/和泉短期大学 後援会/和泉短期大学 父母会/伊藤 忠彦/伊東 直聡/伊東 弘子/今泉 治子/上田 祥子/潮田 健治/内田 千恵子/梅澤 隆夫/大塚 恵子/大塚 貴子/大塚 真光子/岡村 愛子/荻原 英子/奥原 智義/小椋 郊一/小倉 敏子/尾崎 文則/片山 知子/川井 俊幸/川崎 正博/神田 幸枝/岸川 洋治/北崎 照/鯨岡 昌浩/栗田 利広/栗林 直樹/小井土 智江子/河野 康/小久保 光世/小山 郁子/雑賀 えり子/齋藤 眞理子/笹野 和子/佐藤 淑子/佐藤 蘭美/佐藤 美紀/佐藤 守男/篠原 俊正/四宮 英哉/島谷 尚子/志村 美佐子/杉本 美恵子/鈴木 貢次郎/鈴木 正栄/芹澤 薫/曾根 眞理子/大吉 ナカ子/高浦 悦子/高澤 和子/匿名/高橋 正臣/高山 聡/滝沢 奈美子/武石 宣子/武田 美智子/田代 敦美/田中 益代/手塚 育代/同窓会 いずみ/戸沢 祥子/戸田 美穂/土橋 正文/冨田 幸子/長尾 紀子/仲澤 眞/中島 弘光/長友 潔/中道 由紀子/長山 篤子/中山 真一/中山 多恵子/西川 一仁/西田 恵一郎/西田 伸江/新田 恭平/登 好美/平塚 豊/福本 あや子/布施 英雄/船橋 恵司/前田 清子/松岡 俊彦/松田 壯吾/松山 由佳子/眞鍋 恵三/村田 恵子/村田 吉隆/森 享/森 三樹/森久保 和子/八代 陽子/谷田貝 幸男/矢野 圭一/山崎 久美子/山下 幸子/山中 仁/横川 剛毅/横溝 淑江 以上107件 3,753,000円

#### 【受配者指定寄付金】

株式会社 日立オートサービス/株式会社 有隣堂/第一工業株式会社 横浜支店/谷津建設 株式会社/有限会社 青史堂印刷 以上5件 700,000円

- 募金金額 1)個人 1口 5,000円  
2)法人 1口 10,000円

### ●所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)については、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### ●法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて「授配者指定寄付金」として全額損金に算入することができます。詳しくは、下記あてにご連絡ください。

### ●募金問い合わせ先

学校法人和泉短期大学 経理・施設ユニット 042-754-1133(代表)

## 2016年度 保育士資格取得特例講座 (幼稚園教諭免許状を有する方の保育士資格取得特例に関する科目)

新たに創設された「幼保連携型認定子ども園」への円滑な移行を進めるため、改正認定子ども園法の施行後5年間は、「幼稚園教諭免許状」または「保育士資格」のいずれかを有すれば、両方の免許・資格を有する「保育教諭」として勤務できる経過措置が設けられています。

和泉短期大学は、相模女子大学と共同で本講座を開講いたします。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

※なお、両大学共催による講座は本年度で終了となります。本年度のみ受講の方は、保育士試験科目全科目免除にはなりませんのでご注意ください。

問い合わせ先 和泉短期大学 教育・学習支援ユニット 042-754-1133(代表)

## クリスマスコンサート

(子育てひろば「はっぴい」)

12月10日(土)、和泉クラーク・ホールにて、子育てひろば「はっぴい」のクリスマスコンサートを開催します。開催時間は、午前10時45分から正午まで。ハンドベルやパイプオルガンの演奏、聖歌隊によるクリスマス・ソングのほか、学生の出し物など、ご家族がそろって楽しめる内容です。(参加は無料です。「はっぴい」ご利用の家族は、要保険料100円。駐車場有)

開催日: 12月10日(土) 10:45～12:00

受付: 9:30 はっぴい受付 10:30 コンサート受付

## 創立60周年記念事業

## 「60周年記念コンサート」

学校法人和泉短期大学は、2016年5月15日に創立60周年を迎え、記念式典・祝賀会・記念講演を開催いたしました。このたび、60周年記念コンサートを開催し、本学を支えてくださった方々へ感謝を捧げたいと思います。ぜひお誘いあわせの上、ご臨席ください。

開催日: 12月17日(土) 13:30～15:00

場所: 和泉クラーク・ホール (3号館)

奏者: ハンドベル(卒業生)パイプオルガン(千葉仁非常勤講師)



河合

高鋭

専任講師

退任あいさつ

4年半という短い期間でしたが、教職員の皆様にくさんのご指導ご厚情を賜り誠にありがとうございました。私上げますが、何かと至らぬ私で充実した日々を過ごすことができませんでしたことを深く感謝しております。

新入生歓迎大会や和泉祭、サウンドコンテストなど、学生たちが力を合わせて作り上げていく姿に感動しました。そのような学生の皆さんと一緒に学べたことを嬉しく思います。また、子育て支援に携われたことは、大きな糧となり、和泉で得た貴重な経験を生かして、新生活を歩んでいきたいと思っております。

最後になりますが、4年半ありがとうございました。和泉短期大学のさらなる発展と、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。